

令和3年9月29日

報道機関各位

道東沿岸で発生した赤潮について

1. 道東沿岸で発生した赤潮について

- 厚岸～十勝沿岸の広範囲で有害赤潮プランクトンの出現を確認。
- 検鏡の結果、赤潮原因藻類としてカレニア・ミキモトイを含む、少なくとも4種類のカレニア属渦鞭毛藻類が確認された。種名については水産研究・教育機構を中心に現在調査中。
- 9/24までの時点では、赤潮が発生した海域では不明種の一つが優占する傾向がみられていたが、今後優占種が変化する可能性がある。
- 赤潮原因藻類の発生原因については現在調査中。

2 道総研での対応について

- 行政機関、漁協、普及指導所と連携し、被害発生海域の把握、被害魚種を把握、対策を協議する。
- 赤潮発生状況モニタリングのための監視体制の構築を検討中。

詳しくはこちらへお問い合わせください

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
水産研究本部 企画調整部（担当：主査（研究情報）小宮山）
電話 0135-23-8705
※平日8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです